

2010.06.23 「民主党の過半数を阻止せよ。参院選の争点。」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。

明日から参議院選挙が始まります。今回の参議院選挙にも多くの争点がありますが、一番大きな争点は、民主党が単独の過半数を参議院においても取るのか否か、そして野党側はそれを阻止することができるか否かだと思います。

昨年の衆議院選挙で、民主党は単独過半数を上回り 3 分の 2 にならんとする 300 議席を得ました。しかし、参議院では連立を組まなければ過半数に達しない状態です。そのために彼らは社民党と国民新党と連立したのです。社民党との連立は普天間問題で解消され、社民党は下野しました。国民新党はまだ与党ではありますが、亀井氏はすでに閣外に出られ、郵政民営化改革法案も絵空事になりました。しかし、次の参議院選挙で民主党が過半数を取ってしまえば、完全に民主党の思い通りに政権を動かされてしまいます。たとえば、前回の通常国会でも、マニフェストに記載されていなかった、夫婦別姓や外国人の参政権などの法案を民主党は提出しようとしていました。このときは、連立の中におられた亀井氏が「自分がいる限り絶対にこのような法案には反対だ」と、強い姿勢で反対されたためこれらの法案は提出されませんでした。しかし、もし民主党が参議院で単独過半数を取ってしまうと、このような法案が民主党から提出されたとしても、数の上では阻止できなくなってしまいます。これが一番大きな問題です。いくら我々が反対しても、次の参議院選挙で民主党が過半数を取ってしまえば、民主党が掲げている国の根本を潰してしまうような法案が、出鱈目であっても通ってしまいます。

私が以前から申し上げておりますように、菅内閣が一日でもまともに衆参で予算委員会を開けば、間違いなく彼らの出鱈目さが国民の前に晒されることになるでしょう。答弁で窮し、結果支持率も下がり、十中八九菅内閣は崩壊すると思っておりますが、菅内閣が崩壊しても、衆参多数の議席を民主党が持っているかぎり、政権のタライ回しが続くと考えられます。もしくは可能性は少ないですが、菅氏が居直れば、最長 3 年間は民主党内閣が続いてしまうことも考えられます。そのようなことになれば、日本はどうしようもない窮地に陥ってしまいます。それを避けるためには、何としても、参議院での民主党の過半数は阻止しなければなりません。

また、私がかねてから発言しておりますように、このようなとんでもない法案を通さないためだけではなく、我々自民党が中心となって野党が参議院で過半数の議席を取ると、鳩山・小沢両氏をもう一度、参議院の予算委員会場に証人喚問するか、少なくとも参考人招致をすることを決められるようになります。今は我々がいくら予算委員会を開くようにと要求しても、多数を民主党が取っておりますから、予算委員会自体が開けない状態です。しかし、参議院で与野党逆転現象を起こしてしまえば、我々の要求が通るようになります。そうすると、民主党の法案が通らなくなるだけでなく、民主党が抱える一番の膿である小沢氏の問題を国民の前で明らかにすることができるのです。

民主党のとんでもない悪法が通り、日本の国家が崩壊してしまう危機を避けるため、また

民主党の宿痾である小沢氏・鳩山氏の問題、政治とカネの問題を綺麗にするためにも、今回の参議院選挙ではなんとしても自民党が中心となって、参議院で野党が過半数をとり、民主党の過半数をなんとしてでも阻止することが必要です。それが、参院選の最大の眼目だと思っております。

いよいよ、明日から参議院選挙が始まりますが、皆様方にこれらのことをご理解頂いて、ぜひともご支援を賜りたいと思っております。今回の選挙については、インターネットが解禁になっておりませんから、これから選挙に関してはビデオレターを更新することはできません。しかし、これまでに私が述べたことは、どんどん拡散して国民に広めて頂きたいと思っております。そして、選挙とは関係のない、政治の根本的な問題については、今後も選挙期間中も含めてビデオレターを更新致しますので、ぜひご覧頂きたいと思います。ありがとうございました。